

青い夏のおもいじ

さく：平塚 太郎



あるところに、とてもきれいな  
滝がありました。

ぼくだけが、その場所を  
知っているのです。

ひみつの滝にはなを近づ  
けると、ミントのにおりが  
します。

ひみつの滝の水を口にい  
れると、甘いサイダーの味  
がします。



ぼくの友だちを紹介します。  
名前はキャロップ。  
その名のとおり、風より速く走ります。ジャンプも高く、じまんの馬です。  
ある日、ぼくとキャロップはジャンプの練習をしていました。ぼくたちのジャンプが重なったとき、あたりがいっせいに水の中になりました。



暑い夏の日、ぼくは友だちと泳いであそびました。  
その帰り道、つかれたぼくは、なんだか切ないようなきもちになりました。  
体はべたべたなのに、空があんまりにもきれいだったからです。  
おかしいけど、また来年も同じ気持ちになりたいと思いました。